

基本目標 1-1

こども・若者が権利の主体として、 意見を持ち、社会に参加できる



『こども大綱』では？（抜粋）



こどもの教育、養育の場においてこどもが自らの権利について学び、自らを守る方法や、困難を抱える時に助けを求め、回復する方法を学べるよう、こどもの権利に関する理解促進や人権教育を推進する。

困難を抱えながらもSOSを発信できていないこども・若者にアウトリーチするため、人権に対する理解を深め人権尊重の意識を高める人権啓発活動を推進する。



課題
(仮)

- ✓ こどもの権利や、意見聴取について、理解・周知が十分でない状況です。
- ✓ こども・若者、子育て当事者が、安心して意見が言える場をつくる必要があります。
- ✓ 市においても、こども・若者の意見聴取の機会の創出に取り組み、その反映に努めることが重要です。

「みんなの声」という形で意見聴取の内容をここに記載



柏市の取組方針



子どもが基本的人権の享有主体として最大限尊重される社会を目指して、人権尊重思想の普及を図るため、啓発を推進します。

人権教育の大切さを啓発するとともに、道徳教育の推進等により、道徳性の向上を図ります。

子どもや保護者が気軽に相談できるよう、専門相談員による相談など、相談窓口の充実を図ります。

【柏市人権擁護指針】

〔その他関連計画〕

第3次柏市教育振興計画

Topic



こどもまんなかワークショップでいただいた声

- ・機会があれば言えるし、考えると思うが、発言の不得意があると思う。
- ・同じ悩みが複数人いる方が話しやすい。
- ・(相談をしすぎると、関係が深まりすぎて)自分のことを知られすぎるのは嫌。
- ・意見があっても、参加することにハードルがある子もいる。

意見反映プロセスの全体像¹⁾



- 企画
 - 意見を聴く対象を検討する
 - テーマを設定する
 - 安心・安全を確保する
 - 実施体制を作る
- 事前準備
 - 行政職員の準備をする
 - こども・若者の意見表明の準備をサポートする
- 意見を聴く
 - 聴く側の姿勢や体制を整え、意見を伝えやすい工夫や配慮を行う
 - 意見を表明する選択肢を用意する
 - 振り返りをする
- 反映
 - 聴いた意見を受け止めどう反映するか検討する
- フィードバック
 - 聴いた意見がどのように扱われたのか説明する

(出典) こども家庭庁「こども・若者の意見の政策反映に向けたガイドライン」引用

基本目標 1-2

多様な遊びや体験を通して 成長する機会と場所がある



『こども大綱』では？（抜粋）



自然体験、職業体験、文化芸術体験など多様な体験・外遊びができるよう、地域資源も生かした体験の機会や遊びや場を創出する。

こどもや子育て当事者の目線に立ち、こどものための近隣地域の生活空間を形成する「こどもまんなかまちづくり」を推進する。

また、男女平等の理念を推進する教育・学習の一層の充実を図る。



課題（仮）

- ✓ 経済状況や家庭環境、障がいの有無などにより体験活動への参加に格差が生じないように、必要な支援や環境整備に取り組んでいく必要があります。
- ✓ 身近な地域において、年齢や興味関心に応じた多様な遊びや体験の機会や、安心して過ごせる場所が十分に確保されていません。



柏市の取組方針



市内外にある各機関と連携・協働し、体験的に学ぶ機会の充実を図ります。

【第3次柏市教育振興計画】

子ども目線の公園づくりや子育て世代の憩える環境づくりを推進する。

【緑の基本計画】(改定中)

芸術文化は次世代を担う子どもたちの豊かな感性や創造性を育むため、とても大切なものです。幼児や児童生徒の鑑賞機会や体験機会の充実を図ります。具体的には、中学校在学中に1回は学校でプロオーケストラ演奏を鑑賞できる機会を提供しており、この事業は、鑑賞するのみでなく、演奏に合わせて生徒たちが合唱をしたりなど、一体感を持てるよう工夫されています。芸術文化に興味がなかったり、触れる機会のない子どもたちにも機会を提供し、興味のきっかけづくりにつながるよう推進します。

【第五次柏市芸術文化振興計画】

社会全体においても男女平等の視点に立った学習ができるよう、学習機会の充実を図り、様々なニーズに応じて学習機会が確保されるよう、開催日時等に配慮し、学習しやすい条件整備や学習プログラムの充実に努めます。

【第4次柏市男女共同参画推進計画】

[その他関連計画]

ノーマライゼーションかしわプラン 2024	柏市立地適正化計画
柏市生きもの多様性プラン	柏市一般廃棄物処理基本計画
第三期柏市地球温暖化対策計画 (改定版)	柏市子ども読書活動推進計画 (第四次)
柏市都市農業振興計画	読書バリアフリー計画

基本目標 1-3

こども・若者が保健・医療によって 成長・発達・健康を支えられる



『こども大綱』では？（抜粋）



こどもの成長や発達に関して、子育て当事者である親や身近な養育者が正しい知識を持つことに加えて、学校や企業等も含めた社会全体で親やこどもの多様性を尊重し、見守り、子育てに協力していくことができるよう、国民全体の理解を深めるための普及啓発を促進する。

また、慢性疾病・難病を抱えるこども・若者への支援として、その自立を支援するための相談支援や就労支援等を推進する。



課題
(仮)

- ✓ 成長段階や個々の状況に応じた保健・医療サービスについて、必要な支援につながりにくいこども・若者が生じないよう、支援へのアクセスの確保を図っていくことが重要です。
- ✓ 心身の不調や発達に関する悩みについて、早期に相談でき、専門的な支援につながる体制や仕組みを充実させていく必要があります。



柏市の取組方針



妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない相談支援体制の充実や、母子保健に関する情報の活用を含めた関係機関との連携により、地域で安心した育児ができるように支援します。子育てに関する情報が、子育て家庭はもとより子どもの関わりや関心のある方などにも広く伝わる情報提供体制を作ります。

【柏市母子保健事業に関する基本方針】

在宅生活を送る障害者が日中安心して過ごせるよう、日中の居場所や緊急時・レスパイトを目的とした日中活動系サービス（生活介護・療養介護・自立訓練等）や一時預かりを行うサービス（短期入所・日中一時支援）の充実及びサービスの質の確保・向上を図ります。また、医療を必要とする人の経済的負担軽減を目的として、補助や助成を行います。

【ノーマライゼーションかしわプラン 2024】

[その他関連計画]

第2次柏市健康増進計画	
-------------	--

基本目標 1-4

置かれている状況にかかわらず、
こどもが貧困等の影響により
やりたいことを諦めることなく、成長できる



『こども大綱』では？（抜粋）



地域や社会全体で課題を解決するという認識の下、教育の支援、生活の安定に資するための支援、保護者の就労の支援、経済的支援を進める。貧困の状況にあるこども・若者や子育て当事者が社会的孤立に陥ることのないよう、親の妊娠・出産期からの相談支援の充実や居場所づくりなど、生活の安定に資するための支援を進める。



課題（仮）

- ✓ 支援を必要とするこどもや家庭が、支援制度や相談窓口に関する情報を適切に把握し、必要な支援につながる事ができるよう、分かりやすい情報提供や周知を強化していくことが求められます。
- ✓ 経済的な困難を抱える家庭のこどもが、学習、体験活動、進学等の機会に十分にアクセスできるよう、経済的支援や環境整備を図っていくことが重要です。



柏市の取組方針



生活困窮により、こどもの発育・発達及び健康の維持に影響を及ぼさないよう、親の妊娠・出産期から子育て期までの切れ目のない支援等、生活の安定に資する支援の充実を図ります。

また、社会的に孤立した世帯に対して、相談機能の充実を図るとともに、こども及びその保護者の交流の機会等につながる居場所づくりの提供に取り組みます。

【第 2 期柏市こどもの貧困対策推進計画】

子どもたち自身の努力の及ばない不利な環境により、将来への道を閉ざされることのないよう、関係機関と情報共有、連携し、学習支援や貧困対策を図ります。

【柏市人権擁護指針】

[その他関連計画]

第 4 期柏市ひとり親家庭等自立促進計画	柏市駐輪場等条例施行規則
柏市食育推進計画	第 3 次柏市教育振興計画

基本目標 1-5

障がいや病気によらず、 こども・若者が活躍できる




『こども大綱』では？（抜粋）



障害のあるこども・若者、発達に特性のあるこども・若者の地域社会への参加・包容（インクルージョン）を推進し、その発達や将来の自立、社会参加を支援する。

医療的ケア児、聴覚障害児など、専門的支援が必要なこどもや若者とその家族への対応のための地域における連携体制を強化する。



課題（仮）

- ✓ 障害や病気の特性に応じた合理的配慮や支援が、教育、地域活動、社会参加の各場面において適切に行き届くよう、環境整備や支援体制を強化していくことが求められます。
- ✓ 周囲の理解不足や偏見により、こども・若者が自らの力を十分に発揮できる機会が制限されることのないよう、理解促進や意識啓発を進めていく必要があります。
- ✓ 医療、福祉、教育、就労支援などの関係機関が連携し、成長段階に応じた切れ目のない支援につながるよう、支援体制の強化を図っていくことが重要です。



柏市の取組方針



障害児や発達支援の必要な児童を早期に発見し支援につなぐため、幼児健康診査を始めとする母子保健事業を推進するとともに、支援が必要な児童や家族については、障害児支援の中核となる児童発達支援センターに速やかにつなぎ、センターが中心となって関係事業所と共に適切な支援を提供します。また、研修等の実施を通じて、児童やその家族への支援を提供する職員のさらなる資質向上に取り組めます。

共生社会の実現に向けて、障害の有無にかかわらず通常の学級、特別支援学級、小中学校と特別支援学校との交流及び共同学習に取り組む。

【ノーマライゼーションかしわプラン 2024】

日常生活を営むために恒常的に医療的ケアを受けることが不可欠である児童について、集団保育を実施する保育園等において、安全に医療的ケア及び集団保育を実施することができると判断した児童を受け入れます。

【第三期柏市子ども・子育て支援事業計画】

[その他関連計画]

第3次柏市教育振興計画	
-------------	--

基本目標 1-6

虐待を受けることがなく、 家庭で困っている子が支援につながるができる



『こども大綱』では？（抜粋）



虐待相談対応件数の増加など、子育てに困難を抱える世帯がこれまで以上に顕在化してきている状況等を踏まえ、子育てに困難を抱える世帯に対する包括的な支援体制の強化を行う。



課題（仮）

- ✓ 児童虐待の発生予防、早期発見、早期対応を確実に行うため、母子保健、福祉、教育、医療等の関係機関が日常的に情報共有し、切れ目なく支援につなげる連携体制を一層強化していくことが求められます。
- ✓ 虐待や家庭環境の影響を受けたこども・若者が、就学の継続や進学、将来の自立に向けた支援を途切れなく受けられるよう、学校と福祉等の関係機関が連携した継続的な支援を充実が重要な課題となっています。



柏市の取組方針



児童虐待の発生予防・早期発見・早期対応のため、関係機関との連携の強化や児童相談所の設置に向けた取り組みを推進します。

【第三期柏市子ども・子育て支援事業計画】

児童虐待やヤングケアラー等、家庭生活において困難を抱えている児童生徒について、スクールソーシャルワーカーを活用し、他機関とのスムーズな連携を行います。

【第3次柏市教育振興計画】

児童養護施設や里親家庭などを離れた方の大学や専門学校等への進学を支援するため、月額45,000円を学費や生活費の一部（返済不要の奨学金）として助成します。

【柏市ケアリーバー等支援給付型奨学金支給規則】

[その他関連計画]

柏市母子保健事業に関する基本方針	柏市人権擁護指針
柏市地域健康福祉計画	

基本目標 1-7

犯罪・災害から子どもを守る環境を整備し、 安心・安全な社会で生活できる




『こども大綱』では？（抜粋）



SOSの出し方や心の危機に陥った友人等からのSOSの受け止め方に関する教育を含む自殺予防教育、などの体制強化を図る。

こども・若者が、犯罪、事故、災害等から自らと他者の安全を守ることができるよう、安全教育を推進する。



課題（仮）

- ✓ 犯罪や災害等の危険から子どもを守るため、学校、地域、関係機関が連携し、防災教育等を通じて、こども自身が危険を察知し、適切に行動できる力の育成に取り組んでいくことが求められます。
- ✓ 悩みや不安等を抱えるこどもがSOSを出しやすく、それを確実に受け止められるよう、学校や家庭、地域における相談体制や見守りの仕組みを充実させ、安全性の高い環境を整備を図っていくことが重要です。
- ✓ いじめ、犯罪被害、災害、インターネット上のリスクなど多様な危険から子どもを守るため、情報リテラシー教育や人権意識の醸成を進めるとともに、専門職や関係機関が連携した継続的な支援体制を構築が重要な課題となっています。



柏市の取組方針



犯罪等の危険に対する子どもたちの意識向上を図るとともに、自分の身を守るために必要な知識や判断力を身に付けさせるための安全教育の充実を図ります。

【柏市人権擁護指針】

悩みを抱えた子どもが、その悩みを抱え込まずに相談ができる「SOSの出し方」に関する教育を推進するとともに、そのSOSを受け止める側である教員及び保護者に向けて「SOSの受け方」について啓発を行い、悩みを抱え込まずに身近な方に話すことができる環境を、子ども及び教員並びに親の双方向から整えていきます。

【第2次柏市自殺対策計画】

ICT機器の基本操作やGoogleの主要ツールの操作方法等を小中学校の9年間で体系的に習得することができるように「柏市情報リテラシー育成カリキュラム表」を作成。各校において確実に実施されるよう指導・助言している。

【柏市学校教育情報化推進計画】

[その他関連計画]

第三期柏市子ども・子育て支援事業計画	柏市再犯防止推進計画
柏市地域防災計画	第3次柏市教育振興計画

基本目標2-1

出産・子育て・教育の負担を軽減し、 必要な支援を受け、明るく子育てができる



『こども大綱』では？（抜粋）



幼児教育・保育の無償化や高校等の授業料支援など、幼児期から高等教育段階まで切れ目のない負担軽減を着実に実施する。

夫婦が相互に協力しながら子育てし、それを職場が応援し、地域社会全体で支援する社会をつくるため、共働き・共育てを推進する。

ひとり親家庭が抱える様々な課題や個別ニーズに対応するため、各家庭の親子それぞれの状況に応じ、生活支援、子育て支援、就労支援等が適切に行われるよう取り組む。また、こどもに届く生活・学習支援を進める。



課題（仮）

- ✓ 仕事と子育ての両立しやすい環境を整えるため、保育サービスや多様な子育て支援の充実、育児休業等の制度周知、就労支援の強化を通じて、保護者が安心して働き続けられる基盤づくりが重要です。
- ✓ 子育てに伴う不安や孤立感を軽減するため、地域における相談支援体制や見守りの仕組みを充実させるとともに、家庭の状況に応じたきめ細かな支援を行うことが課題となっています。
- ✓ 出産、子育て、教育に係る経済的負担を軽減するため、幼児教育・保育の無償化や就学援助、ひとり親家庭への支援等の制度が必要な家庭に確実に届くよう、分かりやすい情報提供と利用促進が必要です。



柏市の取組方針



幼児教育・保育の無償化を始め、実費徴収に係る補足給付事業等を行うとともに、各種支援制度の周知を進めます。

【第三期柏市子ども・子育て支援事業計画】

支援が必要な方に届くように、制度周知に努めるとともに、支給事務を正確かつ迅速に行います。

就学援助支給世帯を対象とした制服リユース事業（柏市制服バンク）を実施します。

【第3次柏市教育振興計画】

働きながら子育てをしている職員に対する支援制度の利用を促進するとともに、その周囲の職員を含めた働きやすい職場環境を整備することで、職員間での助け合いの風土を醸成していきます。

【次世代育成支援対策推進法及び女性活躍推進法に基づく柏市特定事業主行動計画】

ひとり親が仕事と子育てを両立しながら経済的に自立するとともに、こどもが心身ともに健やかに成長できるよう、総合的かつ計画的に施策の展開を図っていきます。

【第4期柏市ひとり親家庭等自立促進計画】

[その他関連計画]

柏市駐輪場等条例	第4期柏市ひとり親家庭等自立促進計画
----------	--------------------

基本目標2-2

地域と家庭がつながり、 社会全体で子育てが推進される



『こども大綱』では？（抜粋）



地域の中で子育て家庭が支えられるよう、在宅で子育てをしている家庭を含めて全てのこどもと家庭を対象として、虐待予防の観点からも地域のニーズに応じた様々な子育て支援を推進する。



課題（仮）

- ✓ 子育てに関する情報や相談支援が、子育て家庭だけでなく、地域の人々にも広く行き渡るよう、分かりやすい情報提供と身近で相談しやすい体制を充実させ、地域と家庭をつなぐ仕組みを強化していくことが求められます。
- ✓ 子育て中の保護者が孤立感や不安を抱え込むことなく、地域の中で仲間づくりや学び合い、安心して過ごせる場につながるができるよう、親子の居場所づくりや交流の機会を地域全体で充実を図っていくことが重要です。
- ✓ 家庭や地域が抱える複合的な課題を早期に把握し、切れ目のない支援につなげるため、地域と行政が協働して子育てを支える体制を構築することが必要です。



柏市の取組方針



子育てに関する情報が、子育て家庭はもとより子どもとのかかわりや関心のある方などにも広く伝わる情報提供体制をつくります。また、子育てについて相談しやすい体制を充実させます。

【第三期柏市子ども・子育て支援事業計画】

子育て家庭が孤立することなく、育児に安心してゆとりを持って親としての役割が発揮できるよう、まち全体で、子ども同士が育ち合い、保護者も共に支え合う仲間作りや学び合いができる場、また時には親子でほっとひと息つける場の充実を図ります。また、まちへ踏み出す親子を温かく迎え入れる環境づくりを進めます。

【柏市母子保健事業に関する基本方針】

保護者・親子が集まり、仲間を作ったり、学びあったりできる機会の提供等の取り組みにより、子育ての不安や悩みを解消できる環境づくりを進めます。

【第4次柏市生涯学習推進計画改訂版】

[その他関連計画]

柏市男女共同参画推進計画	第2次柏市健康増進計画
柏市地域健康福祉計画	第3次柏市教育振興計画